地方議員を支える

後払いや運用見直し 適正利用の動き 拡大

政務活動費の透明性を向上しようとする機運が高まる中、県内の議会で適正利用に向けた動きが広がっている。

伊勢崎市は本年度、県内で初めて領収書に基づく後払い方式を導入した。市議がいったん自分で支払い、3カ月ごとに会派単位で請求する。すでにホームページ（HP）で公開している収支報告書に加え、領収書や会計帳簿の公開も決めた。

領収書をHPで公開する議会は県内でなかったが、2016年度分から高崎、沼田、館林の3市が、17年度分から伊勢崎、太田両市が始める予定だ。

桐生市は昨年11月、収支報告書に限定してHPでの公開を始めた。領収書については「市役所で閲覧できるようにしている。HPで不特定多数が見られる状況にすると、あらぬ疑いが生まれる懸念もある」（森山享大議長）と慎重な姿勢だ。

運用指針の見直しも相次いでいる。太田市は本年度、宿泊費を実費支給に切り替えた。前橋市はガソリン代や携帯電話料金などに領収書なしで月1万円充てることを認めていたが、政活費の支出対象から外した。

県外では使途をチェックする第三者機関を設ける議会があり、不正受給が相次いだ富山市議会も導入した。

新風会の議員控室にある物品にも、政活費が利用されている。会報の編集に使うパソコンの購入費やコピー機のリース代、自治体情報誌の購読料などだ。

政活費の支出対象は幅広い。市議会には使途基準や支出例を示した運用指針があるが、判断は議員によって異なる。

昨秋以降、新風会の市議を中心に22人（元職含む）が過去の政活費を修

領収書の公開や支給方法を変更

政務活動費の運用指針例（高崎市議会）

▷研修や視察の旅費
実費支給。宿泊費は夕食・朝食代を含め1万4900円を上限とする（市の規定に準じる）

▷電話代、ガソリン代など
議員活動と私的な活動の両方に使っている場合、全額の4分の1を支給する（案分割合は過去の判例に基づく）

▷市政報告会
会場は公民館など公的施設に限る。湯茶・茶菓子代は認めない

▷親族への支出
3親等以内は認めない

▷会派支給の場合、議員個人の活動への支出はできない

正・返還した。「市政報告会」の経費として支出したものの、「後援会活動と受け取られかねない会合だった」と取り消した事例が自立った。一方で、同様の会合を始めから後援会活動と判断し、支出の対象にしていない市議もいた。

市民目線を意識

相次ぐ修正を受け、市議会は3月、収支報告書や領収書などをホームページで公開することを決定。市政報告会は公的施設での開催に限り支出を認めるなど、運用指針も改定した。

会派として政活費を受け取る場合は、会派活動にしか支出できないようになった。本年度は新風会が会派支給に切り替え、他会派は個人支給を選択した。

共産党市議団（3人）は議員個人のガソリン代に充てられなくなるのを避けるため、会派から個人支給に変更した。依田好明団長は「市民の意見を聴き、相談に乗るために、市内を三つのエリアに分けて3人で回っている。ガソリン代が一切なしでは大変と判断した」と説明する。

運用指針の見直しを中心となって進めた、政活費の検討委員会の委員長、田角悦恭市議は「市民目線を意識し、誰が見ても納得できる指針を目指した。今後も周りの状況に応じて改善を検討したい」としている。

石原　千愛

記者の視点

住民も意識向上を

「ニュースで聞いたことはある」。取材で会った高崎市内の20代女性グループに政務活動費（政活費）について尋ねると、こんな答えが返ってきた。

政活費を巡っては、2014年に兵庫県議会で不正流用疑惑が発覚、元県議の号泣会見が話題になった。昨年も富山市議会をはじめ各地の問題が報道され、高崎市議会は「あまりないです」。同じような感覚の市民は少なくないだろう。

こうしたニュースを目にして、自分が住む自治体の議会の政活費がどう使われているのか考えた人はどのくらいいただろうか。

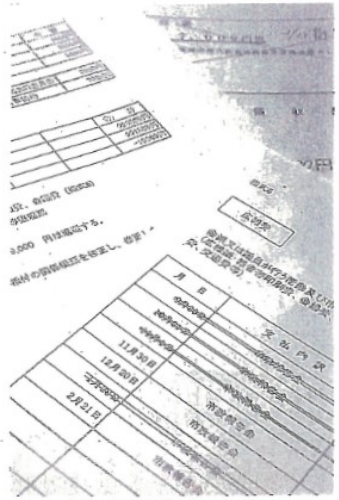
政活費は公費であり、私たちが納めた税金だ。議員は市民目線で支出し、使途を公開して透明性向上に努めてほしい。

一方で、より有効な使い方を促すには住民の意識も重要だ。地元の議員にはどんな人がいて、どんな活動をしているのか。調べてみると、政治が少し身近になるかもしれない。

▼次回は　広がる介護ロボット

政務活動費の在り方

透明性確保へ工夫



高崎市議が提出した収支報告書修正届などの写し。支出を取り消した項目に二重線が引かれた

「見やすくなったね」「ここは別の写真がいいのでは」。4月上旬、高崎市議会の最大会派、新風会（22人）の議員控室。数人の市議が「新風会報」の試し刷りを手に意見を交わしていた。

会報の発行は今年から始めた。1月の創刊号に続く第2号は、3月定例会で成立した本年度一般会計予算や手話言語条例、所属議員の一般質問の要旨などを紹介。約15万部印刷し、ポスティング業者や新聞折り込みを使って市内全域に配った。編集担当の清水明夫市議は「会報を通じ、市民が市政に参加するハードルを下げたい」と思いを語る。

発行にかかった経費は、印刷代や配布料など計約170万円。議員活動や市政を住民に報告するための経費は、政務活動費（政活費）からの支出が認められている。会派のホームページを今月リニューアルした際も政活費を充てた。

政活費は地方議会議員に対し、調査研究などの経費として報酬とは別に支給される。交付方法や交付額などは条例で定められ、議会ごとに異なる。県内では県と14市町の議会に政活費制度があり、議員1人当たりの年間交付額は県が360万円、市町は2万4千～120万円と差がある。

幅広い使い道

「岡山市のイオンは駅直結の点などが高崎と似ている。岡山ではさまざまな渋滞対策がとられ、開店に伴う極端な渋滞はなかったという。高崎市ではどうか」

昨年9月の定例会の一般質問で、新風会の白石隆夫市議はイオンモール岡山を引き合いに、JR高崎駅前に開業予定の「高崎オーパ（仮称）」による交通渋滞への対策や人の流れへの影響を尋ねた。その2カ月前に会派で訪れた岡山市での視察を踏まえた質問だった。現地を見学し、同市の担当者から渋滞対策やまちづくりについて話を聞いたという。

2015年度には市が整備する高崎文化芸術センター（仮称）について、ソプラノ歌手や指揮者から意見を聴く研修会を開き、その内容を市に伝えた。

視察と研修会の経費はいずれも政活費を充てた。白石市議は「学んだことを一般質問や常任委員会での質問などに生かしている」と話す。新風会以外でも、政活費の使い道として視察や研修会を重視する議員が多い。

政策立案に活用を

高崎経済大の岩崎忠准教授（地方自治論）の話

自治体は首長と議会の二元代表制がとられている。両者の対立関係でチェック＆バランス（抑制と均衡）が機能し、より良い政治が生まれるという制度だ。だが実情は首長優位で、議会が対等に政策を打ち出すことはできていない。

政務活動費（政活費）は要らないという意見もあるが、反対だ。議会の役割は単なるチェック機能だけではない。条例提案などの政策立案能力の向上に、政活費を生かしてほしい。

全国で問題が相次ぐ中、交付方法も議論になっている。事後交付は手続きの煩雑さや年度をまたいだ支出の難しさがある。事前交付で領収書を含めて情報公開し、問題がある支出は返還させればよい。柔軟な対応が可能となり、議員の調査活動が充実すると思う。本会議や委員会で良い質問をして政策をより発展させるのも議員の役目だ。

政活費が健全に使われるためには、政策重視の選挙制度でなければならない。政活費をきちんと使い、政策を打ち出す人を評価するシステムになっているか。議員ばかりを責めるのではなく、社会全体で選挙の在り方を考えてほしい。有権者の1票が、政活費の使われ方にもつながっている。

自治体の政務活動費

自治体名（定数）	議員1人当たりの年間交付額
県（50）	3,600,000
前橋（38）	1,200,000
高崎（38）	1,000,000
桐生（22）	380,000
伊勢崎（30）	420,000
太田（30）	430,000
沼田（20）	120,000
館林（20）	150,000
渋川（22）	180,000
藤岡（20）	150,000
富岡（18）	100,000
安中（22）	120,000
みどり（20）	120,000
下仁田（12）	※24,000
大泉（15）	150,000

※は2013年度から利用申請なし

32年 募る無念さ

御巣鷹開山で遺族慰霊

上野

520人が犠牲になった1985年の日航ジャ

や鎮兵隊の行
を再現した
13回古代ま
り」が29日、安中市松井

機墜落事故現場の上野
御巣鷹の尾根が29日、
した。事故から32年た
もなお癒えぬ無念さや
みを胸に、遺族や関係
尾根へ足を運び、慰霊
傷んだ。

兄の栗原紫志さん（
（33）＝一家を亡くした
県大田原市の橋本毅さ
（63）は栗原さんの母校、
田原高の校章を菓子と
に墓標に供え、手を合
た。同校の生徒が亡く
た先月の雪崩事故を受
持参した。「身近な所で
の事故が起きてしまった
ニュースを見ていると32
前を思い出し、苦しくて
悲しくて」と涙を拭った
又古代の防